

新年賀謹



MAYU NO KAI

齋藤 正臣 | 川又 康彦 | 根本 雅昭 | 菅原 美智子
尾形 武 | 鈴木 正実 | 真田 広志 | 二階堂 武文 | 宍戸 一照

真結の会

福島市議会

まゆのかい

MAYU NO KAI
Vol.17

福島市議会 真結の会
—令和6年1月—

MAYU NO KAI TOPICS

12月定例会議の報告

令和5年12月定例会議は12月1日から開かれ、提出された一般会計補正予算等の議案48件及び報告1件を審査の上可決承認しました。補正予算7億1,500万円余は持続可能な子ども医療体制の確保を図るとともに病児・病後児保育施設の新設を支援し、安心して子育てできる環境の整備を推進するための予算や、令和7年に開園30周年を迎える四季の里の将来構想を検討するための経費などです。その他、性的マイノリティへ配慮するとともにキャッシュレス決済等の浸透に伴う申

請・交付方法の多様化に迅速に対応するための、福島市印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例制定の件について審査し、可決承認しました。
会議途中の12月11日と15日には追加議案がそれぞれ13件、2件提出され、審査の上可決しました。主な補正予算の内容は、住民税非課税世帯の生活を支援するため早期に7万円を給付するために要する費用などです。
一般質問では当会派から3人が質問し、諸課題を質しました。

新年を迎えて

真田 広志

市民の皆さまには、輝かしい希望に満ちた新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。また「真結の会」の活動に対し格別のご支援とご協力をいただき深くお礼申し上げます。
このたびは石川県能登地方を震源とする大規模な地震により、お亡くなりになられた方々に謹んでお悔やみを申し上げますとともに、被災されました皆様に心からお見舞い申し上げます。さて、昨年は新型コロナウイルス感

染症が2類から5類へ移行したことに伴い、「自粛」から「活動」へとモードを切り替えながら、地域活動も徐々に活発化してまいりました。しかし一方で、紛争や天候不良を起因とする原材料価格の上昇、円安の影響による物価高騰など厳しい経済情勢に加え、自然災害の頻発化、激甚化など様々な課題を抱えております。
私共「真結の会」は会派一丸となり、それら課題の解消並びに、真に「市民に開かれた議会」の実現に向け、市民の皆様との対話を重ねながら、全力で取り組みを続けて参りますので、一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます、ご挨拶といたします。

会長あいさつ

発行責任者：真田広志
福島市五老内町3番1号
TEL▶024-533-7613
FAX▶024-533-7613
URL▶https://f-mayu.jp



市民の皆様と真に心結び、人々が生き生きと、そして心穏やかに暮らせる県都・ふくしま、県境を越えた広域圏域のリーダーにふさわしい中核市・ふくしまの実現を目指す。

真結の会 綱領

市民の皆様と同じ目線に立ち様々な政策提言をするとともに、厳しい環境に取り巻かれていた地方議会の在り方を見つめ直し真に開かれた、期待される議会を目指す。

この印刷物はユニバーサルフォントを使用しています。



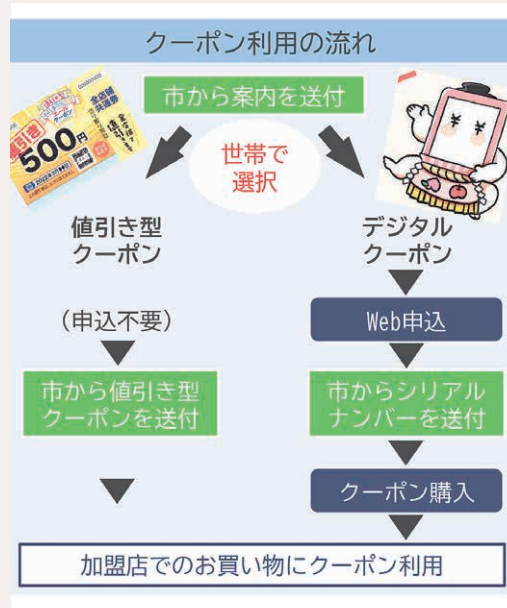
建設進む(仮称)市民センター

市役所本館隣に、(仮称)市民センターが令和6年11月中の完成に向けて工事中です。現在の進捗状況は免振機能を持つ(仮称)市民センターの本体工事が12月末で約37パーセント、隣接する4層5段、約270台収容の立体駐車場工事が約0.1パーセントで完成に向け施工が進んでいます。

(仮称)市民センターは老朽化した市民会館、中央学習センター、敬老センターの機能を集約し、これまで以上に使いやすい市民向けの施設となります。1、2階の市民交流部分は市民が活用するための調理や音楽など様々な機能を持つ大小の部屋の他、大ホールや小ホールも有し様々な催しが可能です。災害時には避難所としても利用が可能です。また、3階部分の会議室部分は行政と市民双方が利用可能となります。

さらに4階、5階には議場などの議会機能を持たせることで市民が訪れやすい、より開かれた議会を目指します。議場には採決の際の各議員の賛否が表示されるシステムも配備されるなど、議会改革も前に進めていきます。

選択型エールクーポンを発行



12月定例会において福島市は、長引く物価高に直面する市民生活の支援と地域経済の下支えを図るため福島市選択型エールクーポンを発行します。世帯ごとに購入不要の紙のクーポンか、デジタルクーポン「福デジくん」を選べ電子クーポンの場合は最大30%のプレミアムが付くものです。福島市ではこの施策に対し、発行費用7億1,000万円を盛り込んだ今年度一般会計補正予算案が12月定例会議に提出され、予算を計上しました。これまで発行した、「福島市デジタルクーポン」に対し利用者からスマートフォンでの操作がわかりにくい、使えない等との問い合わせがコールセンターに寄せられ、これに対し多くの市民の声にこたえ利用しやすいよう、デジタルと紙クーポンの2種類から選択できるようにしたものです。購入は、1月末に送付される案内をもとにホームページから申し込みます。対象は福島市に住民登録のある約269,000人です。利用期間は令和6年3月1日から5月31日です。

令和6年度 福島市予算編成に対する要望書



予算要望にあたって

東日本大震災から12年半余が経過し着々と復興が進められる一方、新型コロナウイルス感染症への対応やコロナ禍で更に進む人口減少・少子高齢化、また、ロシアによるウクライナ侵攻を背景とした原材料価格の上昇に加え、円安の影響による物価高騰など、世界的に景気後退懸念が高まり不確実な情勢が続いております。

本市においても、個人消費やインバウンド需要の回復などコロナ禍からの脱却が進み、地域経済への波及効果が見込まれる一方で、社会情勢や物価高を背景に人件費、燃料費、光熱費など経常経費の増加が続くものと予想されます。

さらには令和6年度以降において、福島駅前交流・集客拠点施設整備事業や(仮称)市民センター建設などの大型事業の本格化などにより投資的経費の額が高水準で推移し実質公債費比率も急速に跳ね上がり、令和9年度には財政調整基金及び減債基金も底をつくとの見通しが出ていることから、これまで以上に歳入歳出の収支均衡の堅持を意識しながら将来に向け健全な財政基盤の確立を図る必要があります。

今後の行財政運営に関しては、次世代に過度な負担を残さず、中長期的な視点に立った財政見通しのもと、限られた行財政資源の有効活用を図りながら「事業の選択と集中」により、財政収支バランスのとれた健全な財政運営が行われるよう期待し、要望致しました。



1. 活気あふれる、ずっと住みたい街

- (1) 中心市街地の活性化
- (2) 災害への万全な体制づくり
- (3) ふくしま田園中枢都市圏域内の連携強化
- (4) 持続する農林業
- (5) 県都にふさわしい商工業の振興
- (6) 温室効果ガスの削減の推進
- (7) 新たな視点による観光の展開

2. 出会い、結婚、子育て 若い世代に選ばれるまち

- (1) 定住するなら福島市へ 夢が描けるまちづくり
- (2) 教育環境の充実
- (3) 子どもを守るための福祉体制の拡充
- (4) 引きこもりからの自立支援

3. 高齢者や障がい者にも優しい福祉のまち

- (1) 高齢者が出かけたくなる元気高齢者まちづくり
- (2) 障がい者の自立を目指す支援態勢

4. 住み心地のいい共創都市

- (1) 文化レベルの向上
- (2) 豊かな自然、魅力ある歴史、文化を未来へ
- (3) 共創の推進と市行政機能の一層の充実

常任委員会の 報告

福島市議会には下記の4つの常任委員会があり、あらかじめ決められた担当所管について、少人数で集中的に審議を尽くすために設置された委員会です。

それぞれが所管する事務の調査、議案、請願、陳情などの審査を行っております。なお、□内は、それぞれの常任委員会における当会派の所属議員名です。◎は委員長。

総務常任委員会

◎鈴木正美／一階堂武文／菅原美智子



4月から解体工事が始まる旧清水支所

【財務部】新清水支所の完成に伴い、旧支所建物の解体工事に4千500万円を計上しました。新支所の本体工事は5年10月に完了、外構工事などを行い、ことし2月26日に開所します。異動手続きなど支所業務が繁忙となる3、4月の着工を避けて解体工事に着手、8月上旬には完了します。跡地は駐車場として整備、活用します。解体工事期間中は支所北側から敷地内に入る通路が手狭となるため、安全確保に配慮し行うことの説明がありました。

【消防本部】消防本部・福島消防署の実施設設計に合わせ、高機能消防指令センターの実施設設計も並行して行います。業務委託仕様書に基づき、同センターに必要なシステム及びネットワーク構成や消防救急デジタル無線整備に伴う基地局整備の設計などを同センター実施設計業務委託仕様書に基づき費用を算出、債務負担行為の補正予算とします。

文教福祉常任委員会

◎川又康彦／穴戸一照



【教育委員会】中央地区小学校のあり方検討会（仮称）の設置を承認し、校舎の老朽化や児童数の減少が進んでいる中央地区の小学校の再編のあり方と目指す学校像、さらに、市内全域から便利な中央地区で増加する不登校の子どもたちへの支援を充実する方策が検討されます。

【こども未来部】病児・病後児保育施設は現在幼児のみで1施設ですが、保護者のニーズを受けて新設の小児科に小学生も受入可能な施設を整備して2施設とします。1千413万3千円の予算を計上しました。

【健康福祉部】安心して子育てできる環境の充実を図るため、こどもの医療確保対策パッケージとして、市内での小児科診療所の新規開業に対する補助制度を創設すると共に年末年始等の小児科診療先にオンライン診療を開設し、市医師会の当番医を補完することで小児医療体制の充実を図るための、3千300万円の予算を計上しました。

経済民生常任委員会

◎根本雅昭／真田広志



【市民・文化スポーツ部】福島市印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例を可決しました。これは、性的マイノリティの方々への配慮として申請書および印鑑登録証明書の性別欄を削除するものです。さらに、証明書のオンラインによる交付申請等を予定しています。

【商工観光部】地域資源を活用した観光コンテンツ創造支援事業費900万円を計上しました。これは、地域経済の活性化に繋げるため、周遊、滞在したくなる観光コンテンツの発掘、磨き上げ、創造等に取り組む事業者に対し予算の範囲内で補助率1/2以内、上限150万円の補助金を交付するものです。

【農政部・農業委員会】四季の里整備事業費1千300万円を追加計上しました。これは、令和7年に30周年を迎える「四季の里」のリニューアルに向け、吾妻山麓エリアの拠点として集客力をあげる将来構想を検討するものです。

建設水道常任委員会

尾形武／斎藤正臣



【都市政策部】福島交通株式会社に対し、乗車定員29名のBYD社製小型電気バス「J6」1台の車体内・外装の架装費用として、1千500万円程度の経費に対する1/4の375万円を上限に補助するための財源を一般財源から拠出するためのEVバス架装整備支援事業費を計上しました。地域公共交通計画に基づき、ゼロカーボンシティの実現に向けて集客力のある移動手段として地域振興等に活用するためのもので、「見えて、乗って楽しいバス」をコンセプトに官民連携で地域公共交通の高付加価値化を目指します。また、昨今の新型コロナウイルス感染症等の影響により厳しい経営状況になっている阿武隈急行株式会社に対し、引き続き計上損失相当額を沿線自治体と協調して支援し、沿線住民の移動手段を確保するため、本市の負担割合である1/4×48.965%に準じ4千647万円余を応分負担する阿武隈急行対策費を計上しました。

令和5年12月定例会議一般質問(抜粋)

今回の12月定例会議において、当会派からは菅原美智子議員、斎藤正臣議員、尾形武議員の3名が、当面する市政各般の課題について質問いたしました。



フーモアメガソーラー 宣言について

本市は2023年8月31日に「フーモアメガソーラー宣言」を行い、本市の意思をはっきりと内外に知らしめたわけですが、その後の市民からの問い合わせ状況について、宣言を行った効果を含めて伺いました。

- 当局(市長)からは、本宣言が広く報道されたことにより、多くの方から環境保全や景観への配慮を求める声などの本宣言に対する肯定的な意見を頂き、「ふるさとの景観を次世代へ守り継ぐ」といった本市の考えを発言できたこと答弁がありました。
- 効果については、山地への大規模太陽光発電施設の設置に対する抑止効果があると捉えていますと答弁がありました。
- 内水被害防止対策について
- 古閑裕而のまちづくりの取り組みについて
- 交流と学びの場の充実について
- フードドライブについて

中心市街地における 将来ビジョン及び公共 施設の戦略的再編整備に ついて

福島駅東口及び西口それぞれに集客拠点施設を設け、それらを結び東西自由通路及びペDESTリアンデッキを設置することが県都ふくしまの顔として必要ですが、中心市街地における将来ビジョン及び公共施設の戦略的再編整備に対しての青写真をどのように描いているのか伺いました。

当局からは、駅東西の現状を踏まえた東西一体的なまちづくりの検討が必要であり、東口再開発事業との機能分担を図ると共に西口には民間の商業機能等と市立図書館等の公共施設が連携した複合施設が必要であり、東西の連結機能が必要不可欠であるため、東西自由通路と施設とを結びペDESTリアンデッキも計画に組み込み、駅舎、駅ビルの建て替えもさらに働きかけていくとの答弁がありました。

福島大学及び 県立医科大学周辺地域の 都市計画について

都市マスタープランにおける福島大学及び県立医科大学周辺地域の都市計画について伺いました。

当局(都市政策部長)からは両大学の周辺地は研究・業務機能拠点として広域交通体系と連携し、自然環境との共生に配慮した機能充実を図ると共に、地域での開発手法について、民間主導による市街地調整区域の地区計画の活用が検討できることから今年度は出前講座による勉強会を2回開催し、今後も地域の皆様と一緒に考えてまいりますと答弁がありました。

- 令和6年度予算編成の基本方針と諸課題について
- 飼料用米品種「天のつば」の継続的な栽培について
- デジタルくーぼんを利用できない方への支援について
- 松川地区義務教育学校の登下校スクールバスの運行計画について

議員定数に関する調査特別委員会を設置

12月定例会議の最終日に、議員11名による「議員定数に関する調査特別委員会」が設置されました。当会派からは3名が委員となり斎藤正臣議員が副委員長に選任されました。議員定数に関する特別委員会は9年前にも設置され、その後、議論を経て3名の定数を削減し、議員定数は現在の35名となりました。特別委員会の設置はそれ以

来のものとなりますが、今回の設置は議会改革検討会での議論から始まったものであり、議会自らが定数について検討を始めるものです。人口減少が始まっている福島市においてこれからの適正な議員定数のあり方について、真結の会としてこれまで同様市民目線に立った議員定数のあり方を議論してまいります。



今回の質問の全体内容は、福島市議会ホームページ【<https://www.city.fukushima.fukushima.jp/gi-soumu/shise/shigikai/>】の「議会録画中継」でご覧いただけます。

所属議員一覧

会長
真田 広志



● 経済民生常任委員
● 複合市民施設に関する調査特別委員

松浪町1番15号
TEL 5231-3201

副会長
二階堂 武文



● 副議長
● 総務常任委員

町庭坂字内町51番地の2
TEL 5911-1138
<http://nikaidou.net/>

副会長
鈴木 正実



● 総務常任委員

飯坂町平野字林添1番地の101
TEL 5431-1218

顧問
穴戸 一照



● 文教福祉常任委員

荒井字上町裏10番地
TEL 5931-1035

相談役
尾形 武



● 建設水道常任委員
● 監査委員

松川町浅川字大古内9番地
TEL 5481-7683

幹事長
川又 康彦



● 文教福祉常任委員長
● 議会運営委員
● 複合市民施設に関する調査特別委員
● 議員定数に関する調査特別委員

飯坂町字湯町25番地
TEL 5421-4251
<http://kawanata-yasuniko.com/>

政調会長
斎藤 正臣



● 建設水道常任委員
● 議会運営副委員長
● 議員定数に関する調査特別副委員長

渡利字七社宮5番地の1
ヴェルデーネ七社宮301
TEL 5211-2342

総務会長
根本 雅昭



● 経済民生常任委員長
● 複合市民施設に関する調査特別委員

渡利字七社宮30番地の1
TEL 050921-6801
<https://m-nemoto.com/>

総務会副会長
菅原 美智子



● 総務常任委員
● 議会運営委員

TEL 5531-0711
<https://mchikopro.jp/>